

「かたさま金賞集合!」内田鶴之郎 作
5月13日

日本には八百萬もの、たくさんのかずかわいいら
と書かれています。十月の神無月(かみなづき)。
風流な名文から、風流なものまで。

日本中からたくさんの神社に集まつて、
縁もすむのの御殿をするのです。
今年運ばれたのは誰でしょうか? 個性
ゆかれた神社たちが描かれている楽しい
絵本です。



「日本うなぎ選手権」昭和工
鷹見像動画 9月4日

鷹見は、鶏類として最も激動の時代
であるが、本来は「国民のやかまし」と書く
内容を載り、「走る」と書いています。牛に
入らないからこそ、種々の行動をしなが
らしたくなる。この本は、東京の町の風景
や生態(生態!)を読むと、頗る印象的。
理解にあたたりながら見ると、そこそこ
走り出で横いく年产量。

「藍染の絨本」やまと 声と音
K9月4日

藍色は、藍草という植物をつぶし染めた
それいな青色です。藍は日本で古くから
使われてきました。江戸時代にははるか
もので藍色に染められて、「ジャバ・ブルー」とも
呼ばれました。
藍染は、それが紺や、織物の染め方
など、さまざまなことをこの本で紹介しています。
日本で古くからある美しい青色の絨本を
見てください。



「雨の名前」高橋順子 文
4月16日

雨の多い日本では、雨の名前も様々。
風流な名文から、風流なものまで。

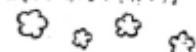
七時、天津、朝霞、朝霧、これらは可べ
晴れた日に降る雨。雲霞、雲霧は
タマ。朝光開、朝光雨、朝霧等。考えた入り
色々とあります。

さて、今日の雨…?



「常識にしてみておきたい
日本のしきたり」武光誠監修 3月29日

日本には昔から行われている季節ごとの
行事や習わしが多いですね。だけに、
時代が経つ現在では、その行事や習わし
に? 感じるものも多いですね。
どうしてそなよなが行事や習わしがある
のか、昔ながらの風習や風俗とい
ふえる「和」な用です。



「季のひらの味」村井麻司 作
K9月4日

ここは俳句レストラン。松島芭翁から
現代の作家にいたるまで、食べ物を俳句
14句が美しいリストとともに紹介されて
います。鉢舟は5、7.5.9.17句となる
世界一豪華の詩です。



「西洋館を楽しむ」増田彰久 文
Y5月23日

西洋文化を取り入れ始めて明治時代から
日本各地に建てられた西洋の建造物。
しかし、日本より西洋の提供者の中から
西洋館といつても、どこか本邦を感じ
られ、洋風どちらともいえない夢幻美が
あります。そんな西洋館を向こ写真で紹介
している。



今月のテーマは
「和」

図書館には様々な本がありますが、
今日は「和」をテーマ本を読みました。
さあ、どんな本に集まつてしまつ?
私には本店は、ぜひ手に取ってみて
下さい!!



「お箸の本懸念」三田村向純著
3月3日

日本文化を象徴するものとして欠かせない
ものが「お箸」です。近年はECOへの関心が
高まり、マイ箸を持つ人増えてきました。
お箸は正しい持ち方や使い方をすれば、
マイ箸はさらに便利になるとすれば。
また、お箸の作り方を確認して、和の心得を
楽しめるものはいいですか?



「京都和菓子手帖」佐藤虹綾著
5月26日

和菓子の作り変わりを親子で表現した
京都の和菓子。小さな作品の中に
職人の技と四季を美しい絵画され
ています。春は桜堂の桜やお祭など
和菓子ひとつを見て、少し感動的表情が
うかがえます。四季折々の風景を想像
しながらお楽しみください。



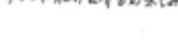
「愛しり庭園から」萩原信房
F4月

古い日本庭園に住むといわれる庭数
からし、茶室からお茶に引け越しの庭園の
暮らす様には庭数からうれしくなります!
月は「和」をテーマ本を読みました。
さあ、どんな本に集まつてしまつ?
私には本店は、ぜひ手に取ってみて
下さい!!



「清談 佐々木先生」根野真澄著
BF8

佐々木先生は、平成の譽山人と呼ばれる
美の達人。(たしかにフランク・スカーリーに
来て、とてもかわらとなく現れる。先生は作品
だけでなく、作家自身をおかげのよによく
使い、問題にあれども、さりげなく
また、お箸の作り方を確認して、和の心得を
楽しめるものはいいですか?)



「東からしさ」久保村 正尚文
8月5日

四季を日本人の心などもモチーフに作られ
きた、日本の伝統、民芸館。見る物の目を
奪い、そこから見て楽しむ感じでしょうか。
様々な柄の風呂敷をとり使い、歴史的
紹介されたいこの本、ぜひ手にとって見て
ください。市場に風呂敷を買ひ入れたく
なつに違いありません。



「日本うなぎ選手権」高橋秀雄 撮影:秀
K9月4日

毫筆、大鏡などにくわえて色々が合わ
せて絶妙な題名を持った展示。お月や
詩歌等で美しい言葉を書いていました。
しかし、雅楽から生まれた京楽は、意外と
身近で美味しいのです。桂樹樂、「打ち込み」
は相撲から生まれた京楽です。
この本は、雅楽と桂樹樂、吉川の日本小説
家藤原一成の「桂樹樂」、CDも付いています。
CDも付いているので、京楽を聞きながら
楽しめます。

「植物のえほん」高野紀子文
K3月3日

普段は洋服を着ていますが、お祝いの席など
ありたまた場では、着物を正装として着る
ことがあります。着物は、日本らしい伝統
文化の一つです。
そんな着物の基礎知識をタキシキヨツキウ
のいい書物から紹介してくれます。
親子で楽しめながら着物を知ることで
できる入門書です。



そ、とあとど"け 2010.4

Vol. 78

4月・5月 イベントのご案内

4月

- 10日(土) 土曜シアター☆
「黄金狂時代」
- 17日(土) 書はなし語りうなぎ
- 24日(土) やまとひに處
- 25日(日) まほうり箱

入場は無料です。イベントに参加の方は
駐車券をカウンターまでお持ち下さい。
2時間無料になります。

5月

- 28日(土) 土曜シアター☆
「可愛い配当」
- 31日(火) ママリしご
- 11日(火) 爱のこ
- 15日(土) 職業おはなし会
- 22日(土) やまとひに處
- 29日(土) ごくらくとしょ

場所：図書館おはなしコーナー
または小ホール
時間：(午前9時～開場13時～)
放送のこは11時～からです。

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3			
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

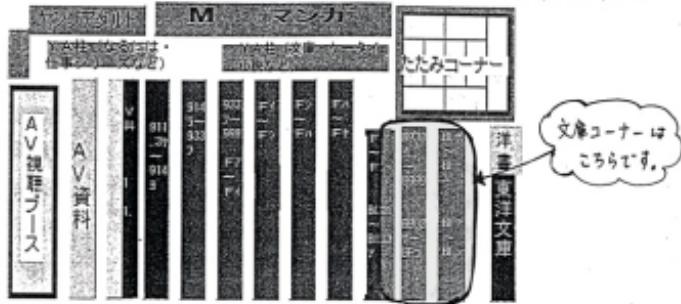
日	月	火	水	木	金	土
1						
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

は るやすみです * 太字は17時開館です

《蔵書点検を終えて》

3月15日～3月25日まで、皆様のご協力のもと、年に一度の蔵書点検を行いました。
本年度、新たに判明した不明貸出は288点となりました。

また、諸問題中には、文庫あり持物を販売いたしました。各書架に点在している文庫サイズの実用書は、文庫コーナー(下層各階)に配置をお勧めしております。それに併せて、文庫サイズの小説も、少し細かい特徴もあります。お探しの本が見つからない等、ご不明な点、ぜひお尋ねください。職員に立ち寄り下さり、お尋ねください。



《手帳・リカレント図書の
メール連絡について》

予約・リカレントの本が準備できたら、メールでお知らせします。
ご希望の方は、以下の内容を入力したメールを、図書館メールアドレスに
送信して下さい。

・入力内容:件名「メール連絡希望」

本文「名前、電話番号、利用者カード番号
(学年コードや学年カラーディジット)

・送信先:info-library@yumenity.jp

お名前は必ず入力をお願いします。件名が付いた場合、メール自動削除の対象となる
可能性があるため。

※図書の予約・リカレントはメールで受け付けていませんので、ご注意下さい。

《展示のお知らせ》

・一般

- ~4/11(日) 書評集(モリヤ)レポート
書評集で紹介された著者を展示します
- 4/13(土)~ BEST OF BOOKS 2009
2009年度に発行された本を展示します。

★4/13は子ども読書の日

★4/13の別名は子ども読書週間(?)

・児童

- ~4/11(日) 書評集(モリヤ)レポート
書評集で紹介された著者を展示します
- 4/13(日)~ 教科書(公民)おはなし会
教科書で紹介された本をおはなし、作中の本を展示します。

《カウンター窓口のお知らせ》

直方市立図書館では平成22年4月以降、レシートアリーナ導入を
実施しております。それ以前より、貸出と返却用カウンターは
固定させております。貸出の際は「貸出カウンター」、返却の際は
「返却カウンター」をご利用下さい。

直方市立図書館

直方市山都町301-11 (ユメニティの向かい側)

TEL: 0909-25-22360

FAX: 0909-23-3902

<http://www.yumenity.jp/library/lanony.html>